

2013年  
春闘

# 賃上げ 安定雇用こそ「デフレ脱却」の決め手

労働者の賃金

10年間で52万円も年収減

これでは「デフレ不況」もあたりまえ

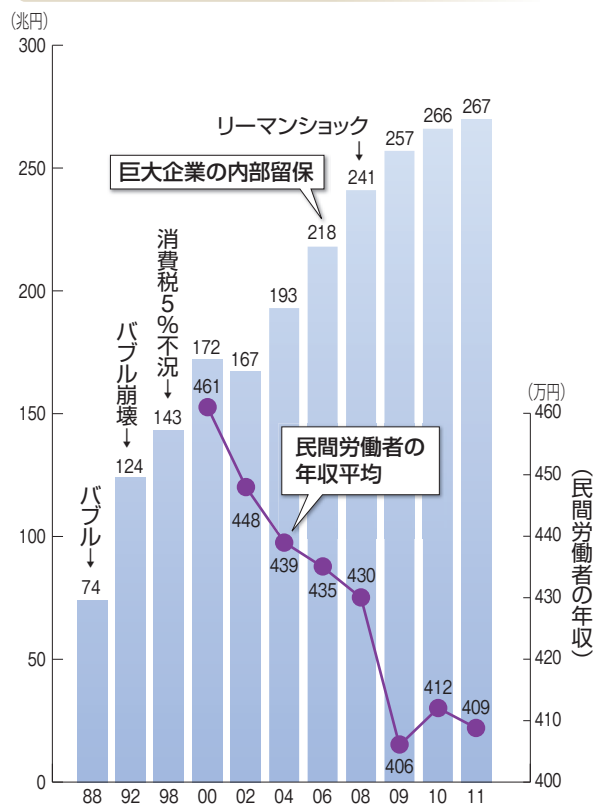
「結婚したいけど先立つものがない」「こどもがこれから高校、大学とすすむのに、年収が減り続けたいへん」。

労働者の賃金は下がり続け、この10年間で年収が52万円も減少。労働者の3人に1人は低賃金で不安定な

非正規雇用。これでは消費が冷え込み、デフレ不況が続くのもあたりまえです。

くらしを改善し、「デフレ不況」から抜け出すためには、すべての仲間の賃上げと安定した雇用が決定的です。

労働者の賃金は減少続き  
一方で巨大企業はため込む



資料：財務省「法人企業統計年報」、同「民間給与実態統計調査」より作成  
①内部留保は10億円以上の5000社（金融・保健を除く）  
②民間平均給与は、手当・賞与を含んだ年収平均

公共事業 中小下請の仕事と雇用をつくれ

内部留保 賃上げと下請単価引き上げに使え

安倍内閣は、公共事業でデフレ不況を打開するといいますが。しかし、大企業・ゼネコンだけを潤す旧来のやり方では景気回復は望めません。大事なことは道路やトンネル、橋、学校の補修・耐震補強など生活基盤

の整備を重点とし、中小下請の仕事と地元の雇用をつくることです。さらに、巨大企業の267兆円ものため込み利益（内部留保）を、労働者の賃上げと下請単価引き上げに活用し、内需拡大に向けるべきです。

「安倍政権は物価を2%上げると言っているが、同時に賃金も上昇させるような手は打たれていない」（浜矩子・同志社大学教授「日刊ゲンダイ」1月8日付）

「定昇もしない」では  
景気は回復しない

「問題は家計にどれだけまわるか。銀行にお金を渡し企業に流すというが、大企業は

内部留保をたくさんもっていて、借りなくてもいいですよという状態。大事なのは、その内部留保を賃上げや市場にまわすこと。経団連は定昇もしないというが、これでは景気は回復しない」（経済ジャーナリスト・萩原博子「NHK、1月12日『週刊ニュース深読み』」

2013年春闘をともにたたかう金属労組懇談会

まじめ懇(荏原合同労働組合/ダイハツディーゼル労働組合/オルガン針労働組合など)/造船連絡会/全日本金属情報機器労働組合(JMIU)

連絡先 TEL03-5961-5601 東京都北区滝野川3-3-1(JMIU)  
Eメール:honbu@jmiu.com http://www.jmiu.com  
(2013年2月発行)